利益相反に関する自己申告書

高知県立大学長　殿

産学官連携活動に係る個人的な利益の有無等について、以下のとおり申告します。

|  |  |
| --- | --- |
| 申告者 |  |
| 所属・職位 |  |

1. 以下、いずれかの産学連携活動を行いましたか？ □はい　□いいえ

※産学連携活動の相手先（契約先）には、日本国内の公的機関（国、地方公共団体、大学、独立行政法人等）は含みませんが、外国の政府機関・大学・研究機関・企業等は含みます。

* 兼業等報酬（１回限りの講演等を含む）
* 共同研究・受託研究への参加
* 発明等の技術移転
* 研究助成金・寄附金の受入れ
* 設備・物品の受入れ

◆「いいえ」と回答した（産学官連携活動を行わなかった）場合は、以上で回答終了です。

1. 産学連携活動の相手先企業等から、以下いずれかの個人的利益を得ましたか？

□はい　□いいえ

※株式等の保有に限り配偶者及び生計を一にする一親等内の親族を含みます。

* 同一企業等からの兼業等報酬（１回限りの講演等を含む）が年間総額100万円以上
* 同一企業等からの発明等の技術移転に係る収入が年間100万円以上
* 株式等の保有（公開株５%以上、未公開株、新株予約権）
* その他大学の管理下にないものであって、職務に関連するもの又は職務の信頼性を損なう恐れのあるもの

◆「いいえ」と回答した（産学連携活動の相手先企業等から個人的利益を得ていない）場合は、以上で回答終了です。

1. 産学連携活動の相手先企業等から得た個人的利益の詳細について、該当するものすべて以下にご記載ください。

【兼業等報酬について】

企業等名称及び役職：

業務内容：

期間：

報酬額：

（記載例：株式会社○△○・取締役、専門的知見の提供、〇年〇月〇日～〇年〇月〇日、年間300万円）

【特許に係る収入について】

企業等名称：

収入額：

収入年月：

（記載例：株式会社○△○、実施料120万円、〇年〇月）

【株式等の保有状況】※配偶者及び生計を一にする一親等内の親族を含みます。

企業等名称：

株式等の保有：

（記載例：株式会社○△○、公開株（100株、時価200万円相当）、未公開株（発行株総数の８％））